

数学教育における情報教育のガイドライン

【到達目標 1】

数学を理解するために基礎的な情報収集と情報処理ができる。

【到達度】

インターネット等を利用して適正な情報を収集できる。

表計算、数式処理、数学文書作成、プレゼンテーションなどの基本的なソフトウェアを適切に取り扱うことができる。

【教育内容・方法】

は、数学の用語・概念や定理に関する調査課題を与え、必要な情報を探索し、得られたものを分析して情報の真正性を理解させる。

は、課題を与えてレポートを作成、発表させる。

【到達度確認の測定手段】

と は、レポート、発表資料、教育学修支援ソフト等により確認する。

【到達目標 2】

情報処理技術を活用して、数理的表現を用いて問題の発見・解析ができる。

【到達度】

問題の解析・シミュレーションに必要なソフト等の利用ができる。

ソフトを活用した分析結果について正しく評価できる。

【教育内容・方法】

は、課題を与え、実際に数式処理やシミュレーションを体験させる。

は、レポート、グループディスカッション等により分析結果を検討させる。

【到達度確認の測定手段】

と は、レポート、プレゼンテーションにより確認する。